



令和6年3月4日  
十日町市生涯学習課

## 「ウィーン少年合唱団公演」を開催します

「天使の歌声」と称され、世界中の人々から親しまれているウィーン少年合唱団が十日町市で公演を行います。今回の公演は、当市が連携協定を結んでいる滋慶学園グループ、そして滋慶学園グループと連携協定を結んでいる株式会社当間高原リゾートの後援と滋慶学園グループの関連企業である株式会社ジャパン・アーツの協力により実現したものです。2024年の来日公演において、県内では当市のみでの開催となります。

- 事業名 「ウィーン少年合唱団公演」
- 日時 令和6年5月18日（土）午後2時開演（午後1時20分開場）
- 会場 越後妻有文化ホール「段十ろう」
- チケット販売 ◎全席指定 一般4,000円、高校生以下2,500円  
※当日500円増、段サポ500円割引券使用可  
※車椅子席希望者はチケット購入時にお申し出ください。  
※4歳以下の入場不可

販売方法	販売開始	販売場所
段サポ先行販売	3月9日（土）	午前9時から 段十ろうで販売
Web販売	3月13日（水）	午前9時から Webサイトで販売
一般販売	3月16日（土）	午前9時から 段十ろうで販売 午前10時から e+（イープラス）で販売

- プレイガイド 越後妻有文化ホール「段十ろう」、e+（イープラス）
- 主催 十日町市
- 添付資料 「ウィーン少年合唱団公演」チラシ

■お問合せ先  
越後妻有文化ホール「段十ろう」  
☎025-757-5011

# ウィーン少年合唱団

Wiener Sängerknaben

カペルマイスター: オリヴァー・シュテッチ  
Kapellmeister: Oliver Stech



©www.lukasbeck.com

2024年5月18日(土)  
午後2時開演 (午後1時20分開場)

越後妻有文化ホール 段十ろう

## プログラム A

### “夢みる夜と魔法の世界”

J. シュトラウスII: ワルツ《美しく青きドナウ》《千夜一夜物語》  
ポルカ《アンネン・ポルカ》

岡野貞一: 《ふるさと》

久石譲: 映画「天空の城ラピュタ」より《君をのせて》

ハーライン: 映画「ピノキオ」より《星に願いを》

シュワルツ: ミュージカル「ウィキッド」より《エメラルドシティ》

などを予定

## チケット料金

全席指定 (一般) 4,000円  
(高校生以下) 2,500円

※消費税込み。当日は500円増。

※段サポ500円割引券使用可能。

※車椅子席希望者はチケット購入時にお申し出ください。

※4歳以下の入場はご遠慮ください。

## チケット販売

段サポ [ 段サポ ] 3月9日(土) 午前9時より  
先行販売 [ 先行販売 ] 段十ろうで販売

[ Web販売 ] 3月13日(水) 午前9時より  
Webサイトで販売

[ 一般販売 ] 3月16日(土) 午前9時より  
段十ろうで販売  
午前10時より  
イープラスで販売



段十ろうWebチケットサービスは  
こちらから申し込みください。

主催 / 十日町市  
後援 / 滋慶学園グループ、(株)当間高原リゾート ベルナティオ  
協力 / (株)ジャパン・アーツ  
お問合せ / 越後妻有文化ホール「段十ろう」 TEL 025-757-5011

## プレイガイド

越後妻有文化ホール「段十ろう」、e+ (イープラス)



# 美しい季節と共にやってくるウィーンの音楽大使!天使の歌声!

ウィーンの音楽大使として世界中の人たちに親しまれ、清らかな歌声を響かせ続けているウィーン少年合唱団。2023年に創立525年を迎えた伝統は、ひととき美しい光を放っています。オーストリア女帝マリア・テレジアの結婚式やナポレオンのウィーン入城、ハプスブルク王朝最後の皇帝であるフランツ・ヨーゼフの葬儀など、歴史の名場面を彩ってきた“天使の歌声”が2024年も来日します!

合唱団は、シューベルト、ハイドン、モーツァルト、ブルックナーという、合唱団にゆかりのある音楽家の名を冠した4つのグループに分かれて活動しています。世界中のクラシック・ホールが無音になった2020年、5月に来日予定だったのがシューベルト組でした。今回、オリヴァー・シュテツヒ氏(指揮・ピアノ)による素敵なプログラムと共に、そのシューベルト組の少年達が日本に降り立ちます。

偉大な指揮者、トスカニーニをして《天使の歌声》と言わしめた、ウィーン少年合唱団。美しきウィーンの調べはもちろん、映画、音楽、ポップス、日本の歌に加え、ダンスや楽器の演奏でも大いに観客を楽しませてくれます。そして、人々の心の祈りや平和への願いもまた、その根底に流れていることを感じていただけるでしょう。新緑の美しい季節、未来を照らす明るいメロディーをお楽しみください。

## Wiener Sängerknaben

～シューベルト組来日! 2024年日本公演来日メンバー～

カペルマイスター:オリヴァー・シュテツヒ Kapellmeister: Oliver Stech

© www.lukasbeck.com



Alejandro  
アレハンドロ



Antonin  
アントニン



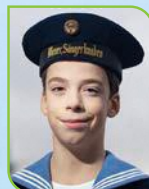
Bence  
ベンセ



Benjamin  
ベンヤミン



Benjamin  
ベンヤミン



Christian  
クリスティアン



Emil  
エーミル



Eunhu (louie)  
ルーイ



Izaak  
アイゼック



Jonas  
ヨナス



Jonathan  
ヨナタン



Junseo (Jake)  
ジェイク



Leon  
レオン



Louis  
ルイス



Philipp  
フィリップ



Phillip  
フィリップ



Rene  
レネ



Richard  
リヒャルト



Rico  
リコ



Saiki  
サイキ



Soma  
ソウマ



Wooseok (luke)  
ルーク



Yaroslav  
イヤーロスラヴ



オリヴァー・シュテツヒ  
Oliver Stech

カペルマイスター(シューベルト組)

### ウィーンの象徴、音楽大使として世界中の人々の心を癒す天使たち

ウィーン少年合唱団の創立は1498年(日本では戦国時代の明応7年)、皇帝マクシミリアン1世により宮廷礼拝堂で歌う6名の少年が集められたことに始まり、ウィーン宮廷音楽礼拝堂、宮廷少年合唱団、そしてウィーン少年合唱団の基礎となる。巨匠トスカニーニが彼らのコーラスを評して《天使の歌声》と命名したことで有名。世界の数ある少年(少女)合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇る。10歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿で生活し、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーとウィーン少年合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれ、ヨーロッパ各国、アメリカ、アジア、オセアニアなど世界中のコンサートに出演。ウィーン国立歌劇場やフォルクスオーパー、ザルツブルク音楽祭やウィーン・フィルのニューイヤーコンサート出演など、ウィーンを代表する団体のひとつとして活躍している。また、宮廷礼拝堂のミサで歌うことは今も昔もウィーン少年合唱団の使命とされている。今回の来日はシューベルト組(Fシューベルト自身もウィーン少年合唱団の卒業生)。2017年にオーストリアのUNESCO無形文化遺産に登録され、2024年のヨーロッパ文化賞をウィーン少女合唱団と共同で受賞。(ヨーロッパ文化賞:芸術的および社会的に傑出した業績を残した団体や著名人に贈られる欧州で最も重要な賞のひとつ)

ウィーン大学でラテン語を起源とする語学、ウィーン国立音楽大学で声楽と音楽教育を専攻し、合唱とアンサンブルの指揮を中心に学ぶ。2011年1月にウィーン少年合唱団シューベルト組のカペルマイスターに就任。ウィーン少年合唱団のコンサート、ツアーのレパトリー責任者として、合唱およびソロのリハーサル、礼拝堂での歌唱指導などを行うほか、ウィーン国立歌劇場やウィーン・フォルクスオーパーの舞台、公演に合唱団が出演するときの指導も担当している。2012年に初の長期海外公演として日本を訪れ、2016年に続き今回3度目の来日となる。